

おだ じゅんたろう

# 織田 淳太郎

ノンフィクション作家

## 【講演内容】

### ◆ コーチ論

無能な指導者、間違ったトレーニング理論によって、どれほどの煌めく才能がつぶされ、スポーツ界から去っていったことか。「ウサギ跳び」「丸刈り」「だらだら長時間続く練習」「シゴキ」「三年天皇、一年奴隷」「自分の成功体験の押しつけ」「恣意的な選手起用」「ただヒステリックにわめきちらすコーチ」「不勉強」―日本のスポーツを語る言葉は、あまりに貧しく、絶望的である。いや、見方を変えれば、これはスポーツ界だけでなく、日本の一般社会にも共通することかもしれない。本書は、現在のスポーツ界に風穴を開けようと日々奮闘する監督やコーチ、トレーナーへ取材を重ね、その最先端の理論を紹介するものである。



## ■ 経歴

1957 年生まれ。北海道室蘭市出身のノンフィクション作家。

早稲田大学在学中は体育局ボクシング部で、バンタム級を主戦場にして活躍。

早大卒業後は雑誌の記者等を経験した後、独立。スポーツノンフィクションの他、小説等幅広い執筆活動を行っている。

うつ病を患った事があり、それに関連した著書も刊行している。

## ■ 著書 ※抜粋

「拳闘王 辰吉丈一郎」(1991 年 学習研究社) (石塚 紀久雄 名義)

「大場政夫の生涯」(1992 年 東京書籍) (石塚 紀久雄 名義)

「狂気の右ストレート―大場政夫の孤独と栄光」(1996 年 中公文庫)

「ありがとう―尾崎豊 ラストメッセージ」(1996 年 風媒社)

「首都高に散った世界チャンプ 大場政夫」(1999 年 小学館文庫)

「巨人軍に葬られた男たち」(2000 年 新潮文庫)

「論争・長嶋茂雄」(2001 年 中公新書クラレ、中公新書クラレ編集部との共著)

「トレーナー」(2001 年 小説・中央公論新社)

「20 世紀完全版長嶋茂雄大辞典」(2001 年 新潮 OH! 文庫)

「もう一度あるきたい―競歩界のシンデレラガール板倉美紀奇跡の復活」(2002 年)

「コーチ論」(2002 年 光文社新書)

「捕手論」(2002 年 光文社新書)

「ニッポン野球珍事件珍記録大全」(2003 年 東京書籍)

「Sports Graphic Number ベスト・セレクション III」(2003 年 文藝春秋)

「審判は見た!」(2003 年 新潮新書)

「ナンバ走り」(2003 年 光文社新書、矢野龍彦、金田伸夫との共著)

「ナンバのコーチング論 次元の違う「速さ」を獲得する」(2004 年 光文社新書)

「医者にうつは治せない」(2005 年 光文社新書)

「そしてウツは消えた!」(2007 年 宝島社新書、米倉一哉監修)

「メンタル・コーチング―流れを変え、奇跡を生む方法」(2007 年 光文社新書)

「巨人軍に葬られた男たち」(2008 年 宝島 SUGOI 文庫)

「ラストゴングは打ち鳴らされた」(2009 年 ランダムハウス講談社文庫)

「ある精神科医の試み―精神疾患と 542 試合のソフトボール」(2009 年 中央公論新社)

「ルポ 現代のスピリチュアリズム」(2010 年 宝島社新書)

「精神医療に葬られた人びと 潜入ルポ 社会的入院」(2011 年 光文社新書)

「精神病棟 40 年」(2012 年 宝島社、時東一郎 著の解説・構成)

「夢の先にあった栄光と挫折 プロ野球「異業種」から来た男たち」(2012 年 宝島社)

「なぜ日本は、精神科病院の数が世界一なのか」(2012 年 宝島社新書)

「プロ野球 愛された男たちの墓碑銘」(2013 年 宝島 SUGOI 文庫)